◆ ご案内　第1報 ◆

「いきいき 教会づくり」
～ 伝道のための キリスト教 共育 ～

2018年 9月24日（月・休）
11時 ～ 15時

岡山教会 に 集まろう！

畑と田んぼ に 囲まれた 地方教会 茨城県 竜ケ崎教会
こどもも 大人も ひとつに なって
にこにこ 笑顔・活気ある 礼拝・喜ばしい 労苦
神の国 の ひみつを 飯塚 拓也 先生 より
たのしく 学びます！

この企画は 岡山県東部地区　合同CS担当者会に 依るものです
きっかけは　教団「伝道資金」申請・承認です
東中国教区 で 伝道に悩み
頑張っている皆さんと　時を　共有したい
教会学校に　無関係であっても　まったく構いません
まずは　ご案内を開いて頂ければ　幸いです
あっと驚く 福音が あるかも知れません！
最終 ページ には
講師の 飯塚拓也 先生 より　皆さんへ　メッセージ (^^♪

「 いきいき 教会づくり 」

～ 伝道のための　キリスト教　共育 ～

講師の飯塚拓也先生が牧会される

茨城県 竜ケ崎教会 ご紹介

講師としておいで下さる飯塚拓也牧師が1984年から伝道・牧会されている「竜ケ崎教会」のびっくり、それって凄い！？のご紹介。写真ページと共にぜひお読み下さい。

① こどもも大人も教会が大好き

笑顔あふれる竜ケ崎教会。こどもたちは教会から帰りたがりません。自分の居場所、役割がこどもたちにもあるのです。教会の幼稚園、認定保育園の卒園生ほか、生き生き、にこにこの子どもたちは、TV を見るより、ゲームであそぶより、教会が楽しいのです。

② 普段着のこどもたちだけの聖歌隊！？

普段着のこどもたちが、ごーく自然に、まるで聖歌隊のような編成で礼拝の賛美をささげています。「じゃ、次はこどもたちだけでねぇ」なんていう声がかかると、ますますこどもたちは大きな声で、太鼓とオルガンやピアノに合わせて賛美を始めます。

③礼拝の司式、聖書朗読や交読文の先導もこどもが！

ちょっとした奉仕やお当番は、「誰かしてくれるー」という調子で礼拝前の当番決めの時間に牧師が声掛けすると、こどもたちは、「はい、はい、ハイー」と張り切って手を挙げてくれます。お兄ちゃん、お姉ちゃんが礼拝のたいせつな務めをしていると、当然、それに続くちびっ子たちも、真似をして自分も、とガンバルのです。3，4 才の子どもたちでも礼拝中にグズることもありません。

④『週報』にはすべてルビ 20年以上続いてます

なぜ、週報にルビがふられているのでしょう。竜ケ崎教会ではこどもたちも教会の大事なメンバーです。ですから、とうぜん、小学校の低学年の子、保育園、幼稚園の子どもたちも読めるようにという配慮があります。『週報』は教会全体のもの。記されている大事な案内は、こどもたちにも告げられ、祈りを合わせます。

⑤大事な話し合いの場　こどももいますよ！

（たまたま居合わせたある年度末の礼拝にて）一年間かかげていた竜ケ崎教会の目標を、礼拝の報告の時間で、大人もこどもも一緒になって振り返ってました。定期教会総会に参加しなくても、子どもたちは自分の教会として重荷や課題、失敗や痛みまでも肌で感じながら学んで行きます。そんな教会他にどこにありますか？

⑥礼拝ほか　パソコン操作はこどもたちの出番です

礼拝中の歌詞は竜ケ崎教会ではスクリーンに映し出されます。そのパソコン操作は、小学生のお子さんの何人かが当たり前にしてくれます。たぶん、飯塚先生よりも上手に操作できるのでは、と思います。おじいちゃんの年齢の方が、お隣に居られますが、念のために見守る程度です。

⑦こどもたち　礼拝出席300回で沖縄の旅をプレゼント

毎週のみ言葉カードを楽しみに集めているこどもたち。5 年と少し欠かさずに礼拝出席を続けると･･･な、な、なんと、沖縄見聞の旅が贈られるようです。何人もが真剣に沖縄を目ざしています。

⑧竜ケ崎教会は地方の教会 東中国教区と変わらない

竜ケ崎教会が立つ茨城県龍ケ崎市は田んぼや畑が広がってます。東京の上野からですと常磐線の快速列車で 1 時間半程。さらに JR の駅から車で 15 分の自然環境に恵まれた地域にあるのが竜ケ崎教会です。

⑨日曜日の朝早く　教会の畑に向かうこどもたち！

日曜日の礼拝後は、ほぼ毎週、残れる人はみんな残って食事をしますが、その時に使われているお野菜。こどもたちが日曜日の朝 9 時過ぎ、飯塚牧師と一緒に畑に向かった子どもたちが収穫します。おいしいに決まってますね！

⑩おとなもこどもも 笑顔いっぱい 体が自然にゆれる賛美です

礼拝中も、礼拝後のたのしいさんびの時間も、飯塚牧師の太鼓やギターに導かれ皆さん笑顔で歌い始めます。いつしか体が動き始め、手拍子も始まるのです。体がゆれるゆれる！素晴らしいです。もちろん、昔ながらの賛美歌も心を込めて歌います。

◆ 2018年 9月24日（月・祝）11時～15時　岡山教会にて開催

「 いきいき 教会づくり 」

～ 伝道のための　キリスト教 共育 ～ 開催のごあいさつ

担当委員：森 言一郎（旭東教会）　※関連のお問合せも旭東教会へ

少し早いですが、東中国教区の皆さまに、一人でも多くご参加いただきたく、このご案内をお届けします。わたし自身、茨城県の竜ケ崎教会の礼拝に2度出席していますが、その度に、新鮮な驚きと喜びに包まれました。そのいったんは、この冊子型のご案内を読んで頂くと少しお分かりいただけるのではと願い準備を始めました。

何しろ、講師の飯塚拓也先生を紹介する以上に、竜ケ崎教会の礼拝に集う皆さんの様子を少しでもお届けし、その息遣いに触れて頂くことこそがご紹介の近道と考えた次第です。振り返って見ると、こんなご案内、これまで作ったことがありません。竜ケ崎教会のマネはとても出来ません。でも、パンくずのひと欠けらから、考えたり、語り合ったり、歌ったりする中で、何かを吸収する切っ掛けが得られるのではないか、と期待しています。

当日は、昼食をはさんでの、豊かで、ゆったりとした学びの時としたいと考えています。次回のご案内で、お申し込み出来るよう、詳細をお届けいたします。今からご予定いただき、教会の皆さまに広くご案内いただければ幸いです。主にありて

◆ 講師の〈 飯塚 拓也 先生 〉からのメッセージです

『こんにちは
竜ケ崎教会 飯塚拓也です』

▼1957年5月30日に生まれて、教会とのお付き合いは61年となりました。この間、いろんな立場で教会と関わりましたが、時には、複雑な気持ちや反抗的な姿勢で教会と向き合ったこともありました。そんな中で、考えていたことが「教会って何だろう？」でした。▼たどりついた答えは、「教会は共同体」でした。「もし、イエスさまがいらっしゃったら、きっとこうするだろう」を、「みんな」で実現するところが教会じゃないかと思います。▼そして、その「みんな」には、大人だけでなく子どもも含まれているはず、と考えたのです。これがすべての始まりでした。▼2018年度の竜ケ崎教会のテーマは、「教会が大好きー さぁ、みんなで楽しく！」です。子どもも大人も、文字通り「みんな」で、「神の国はネ、きっとこんなところだよ」を実現したいと願っています。▼1984年に農村伝道神学校を卒業。竜ケ崎教会に招かれました。それ以来のつたない歩みを、東中国教区の皆さんに紹介させていただくことは感謝です。

◆【 講師 飯塚拓也先生 ご紹介 】

日本基督教団・竜ケ崎教会牧師として仕えて30年を超える。聖和学園理事長、認定こども園ぶどうの木・竜ケ崎幼稚園園長、関東教区総会副議長、宣教部委員長（現任）として仕え、日本基督教団でも予算決算委員長を務める頼もしい方。震災の復興の現場には飯塚拓也ありのタフガイ。『こころの友』『礼拝と音楽』などで折々に執筆。